

## 川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査の結果について

### 1 調査目的

第三次川越市文化芸術振興計画の策定の基礎資料とするため、市民の文化芸術及び生涯学習に関する意識や具体的な活動内容、諸施策に対する関心について経時変化、市民ニーズを把握するため。

### 2 調査項目

A 欄：文化芸術に関する意識調査 16 問

- 問 1 文化芸術の鑑賞内容
- 問 2 文化芸術の鑑賞場所
- 問 3 文化芸術の鑑賞をしていない理由
- 問 4 今後の文化芸術の鑑賞内容
- 問 5 自ら文化芸術の活動をした内容
- 問 6 自ら文化芸術の活動をした場所
- 問 7 自ら文化芸術の活動をしていない理由
- 問 8 今後、自ら文化芸術の活動をしたい内容
- 問 9 文化財等の保存・活用の活動への参加の有無
- 問 10 文化財等の保存・活用の活動に参加していない理由
- 問 11 文化財等の保存・活用の活動への今後の参加意向
- 問 12 「川越の文化」という言葉のイメージ
- 問 13 芸術鑑賞や文化活動の必要性
- 問 14 文化活動や芸術家の支援のために必要なこと
- 問 15 文化活動をもっと活発にするための市の取り組み
- 問 16 自由記述

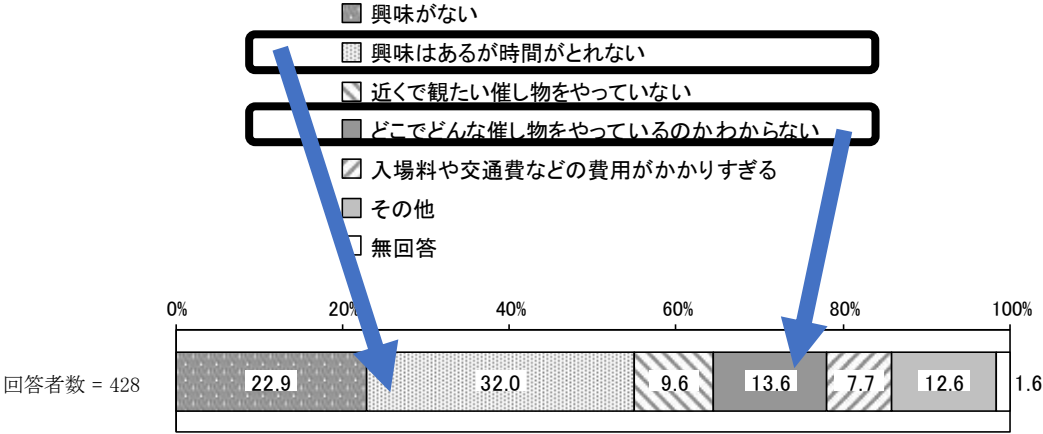
### 3 調査内容

- (1) 調査対象地域 川越市全域
- (2) 調査対象 川越市内在住の満 18 歳以上
- (3) 標本数 3,000 サンプル→有効回収数 1,338 (有効回収率 44.6%)
- (4) 標本抽出方法 川越市住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 業務委託による郵送法を使った自記式調査
- (6) 調査期間 令和元年 7 月 30 日～令和元年 8 月 16 日

問1で、『17.鑑賞していない、鑑賞できなかった』と答えた方におたずねします。

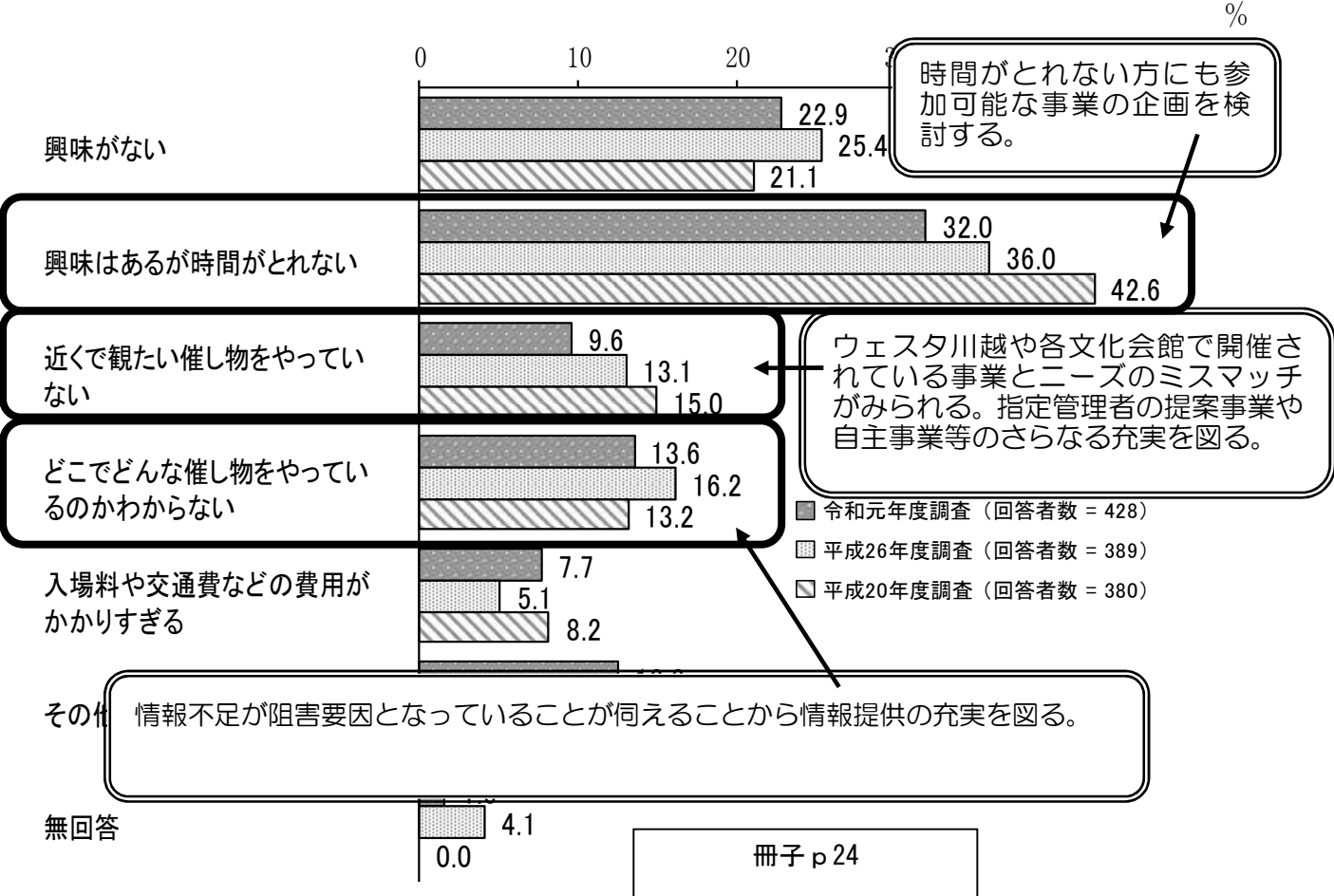
**問3 その最も大きな理由1つに○をつけてください。**

「興味はあるが時間がとれない」(32.0%)が最も多く、3割を超えています。以下「興味がない」(22.9%)、「どこでどんな催し物をやっているのかわからない」(13.6%)の順となっています。



**【経年比較】**

平成20年度調査、平成26年度調査とは選択肢が異なるため参考とします。



問 15 あなたは、文化活動をもっと活発にするために行う市の取り組みとして、次の各項目が、どれくらい重要だと思いますか。(それぞれの項目1つに○)

「m. 子どもが文化に親しむ機会の提供」で「重要である」(43.7%)と「まあ重要である」(32.6%)を合わせた“重要である”(76.3%)が多く、7割半ばとなっています。以下、「a. 市民の文化活動に関する情報提供」で「重要である」(38.9%)と「まあ重要である」(32.1%)を合わせた“重要である”(71.0%)、「b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供」で「重要である」(30.7%)と「まあ重要である」(35.7%)を合わせた“重要である”(66.4%)の順となっています。

